

蒲郡市男女共同参画情報紙

# はばたき

特集●男女いきいき蒲郡

—明日へ！帆に新しい風を

「話そう、働こう、育てよう。いっしょに。」

(平成22年度 男女共同参画週間標語)

第19号

2011.3

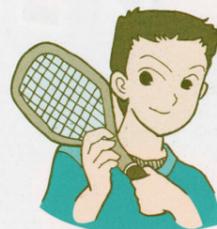
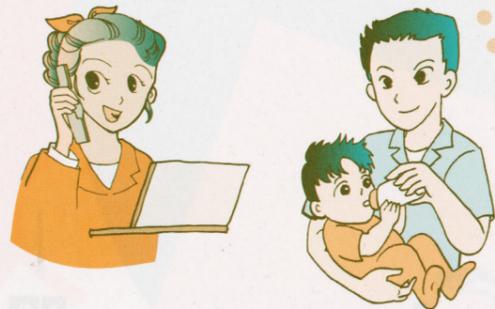
# 「男女いきいき蒲郡 ー 明日へ！帆に新しい風を」

第2次蒲郡男女共同参画プランがこの3月に策定される予定です。今回はこのプランの概要をお知らせします。

男女いきいき蒲郡の実現のために、市民一人ひとりの意識改革を進めるとともに、仕事と家庭生活が両立できるように社会全体を改革して、男女がいきいきと生活できる三つの生活・活動の場づくりを進めます。

## 家庭

男女が協力して家事、子育て、介護など家庭生活を担う環境整備を進め、男女いきいき家庭づくりを促進します。



## 両立

就業における男女平等や、家庭・地域生活での男女共同参画を進めながら、市民みんなで仕事と家庭の両立を目指します。

## 仕事と家庭生活の両立



## 男女いきいき家庭づくり

## 男女いきいき地域づくり

## 男女いきいき職場づくり

## 職場

仕事のうえで性別による差別を受けないこと、誰もが個人として等しく能力を発揮することができる職場をめざします。

子育てや介護などを必要とする家族がいる家庭への配慮や社会的な支援を充実して、男女いきいき職場づくりを推進します。



## 地域

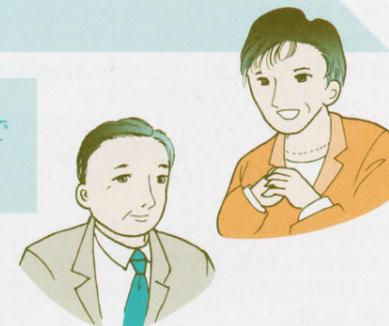
男女が、市の政策や地域活動などの方針の決定に参画し、地域社会を支えることにより男女いきいき地域づくりを進めます。



## 意識改革の推進

## 意識

男女の人権を尊重して、あらゆる場面で男女共同参画意識を高めます。



## 男女共同参画に関する用語解説

### 男女共同参画社会

男女が共にあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることによって、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと。

### 育児、介護休業法

育児休業・介護休業等、育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律のこと。

### ドメスティック・バイオレンス (DV)

配偶者や恋人などから受ける暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的、経済的な暴力なども含まれる。

# 国や県の男女共同参画

国  
では

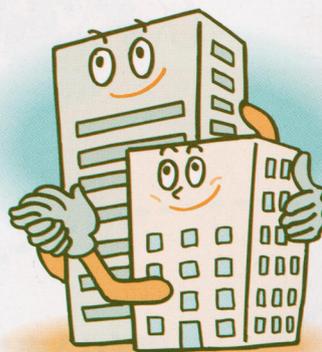


平成22年12月17日に第3次男女共同参画基本計画を閣議決定しました。この計画では15の重点分野で男性も女性も全ての個人が、喜びも責任も分かち合い、その能力・個性を十分発揮できる社会を目指します。

県  
では



「新あいち男女共同参画プラン（仮称）」を平成22年度中に策定する予定です。このプランでは四つの重点目標と10の基本的施策を掲げ男女共同参画社会の実現を目指しています。



## 編集後期

Editor's note

家庭という小さな社会から、学校、地域、職場など、規模や自分の中での価値観は多種多様でも、それぞれの関わる社会が、お互いに相手と自分の得手不得手、自分との違いを尊重し、素直に認め、支え合う意識と行動が身近な市民生活を安全で安心して暮らせる街育てにつながると信じます。 (H・K)

八年前、まだ保育園に入っていなかった子供をつれてはばたきの会議に出席していました。

子育て真っ最中の時、男女共同参画という言葉は別世界の言葉のように感じました。働きたいけど、働けない。そんな時をへて、蒲郡市でも八割の女性が働いている四十代になりました。仕事をしながら家事をして。家族に協力してもらえることは、なんでも、やってもらう。今はとても身近に生活の中に溶け込んでいます。 (M・F)

3人の子育てをしながら編集会議に参加させていただきました。男女の違いなくたくましく育つ現代っ子達が、社会へ出てからもキラキラと輝き続けることができる蒲郡市でありますように。私も今まで学んだことを家庭や社会で実践していきたいです。 (T・K)

先日、男女共同参画会議議員であり内閣府監視専門調査会会長である鹿嶋敬さんの「第3次男女共同参画計画の目指すもの」講座に参加しました。限られた時間にもかかわらず端的で分かりやすい講義でした。つまるところクォータ制度、ゴール&タイムテーブル方式など半ば強制的に目標値を定めなければ国、地方自治体、企業も積極的に動こうとしないと判断をされていました。結局は政治的意図次第です。

蒲郡市も行政、議会などが正しく男女共同参画社会を理解し、取り組んでいくことが肝要と思います。 (N・A)

保護者会で見かけるお父さん、保護者名に自分の名前を書くお母さん、創刊当時はめずらしかった風景も今では当たり前になりました。一歩ずつ進んでいるんだなと実感します。 (N・F)

はばたき 第19号  
2011.3

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行／蒲郡市 企画広報課 編集／「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

■TEL 0533-66-1162 ■FAX 0533-66-1190 ■Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp